

大和のぎく作業所を知ろう

やまねっとの中で、最も南部にある事業所です。就労継続支援B型で現在9名の方が通われています。



織物



染物



和紙作り



高座渋谷駅の東口から歩いて8分ほどの住宅街にあります。外見は普通の家？なので分かりづらいと思います。昭和60年10月に、織物等の自主製品を製作する事業所として、定員10名でスタートしました。織物や染物を行っていたので女性中心の事業所でした。そして、大和市内の色々なところから通われてきました。今でも2階に織り機があり、週に何回か織りの作業を行っています。

現在は11名の定員で、染物の他に手すきの和紙も作っています。和紙は大和市の注文で「おくやみのことば」として、市民の皆様に届けられます。作業の中心は、おしほりなどを広げて重ねて数える作業、封筒への封入などの受注作業です。皆さん仕事が好きで、作業をしている時は生きいきとしています。織物や染物、トンボ玉製品、一筆箋などのぎく作業所の製品は市内の「スプンティーン」に置かれています。れんげまつりやよさこいまつりなどでも販売しています。

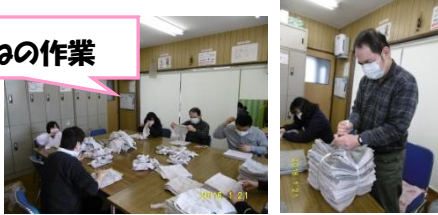
お菓子や小物のクラフトを行う「創作」を月に1回楽しみ、日帰りのレクや旅行(昨年は日帰り旅行で川越に行きました)なども楽しめます。少人数ですが、笑顔の絶えないのぎく作業所です。のぎく作業所の合言葉は「いつも喜んでいよう」です。のぎく作業所の製品に出会ったら是非触れてみて下さい。笑顔が伝わるかもしれません。(所長 山岸)

のぎく作業所の一日常

①出勤

8:40~9:00の間に出勤します。
通勤手段は、徒歩の方や電車を利用されている方、ご家族の送迎で来られる方がいらっしゃいます。

ウエス重ねの作業



②作業

業者さんから洗濯をされているウエスが届け、きれいに重ねて数を数え、紐で縛り袋に入れて納品しています。
その他には封入作業も行っています。
のぎくは自主製品も作っており、織物や染物、トンボ玉の製品などを販売しています。

③昼食

仕出しのお弁当を注文されている方やお弁当を持参される方がいます。
月に2回、お当番さんがボランティアさんと一緒に調理実習も行っています。



④帰宅

15:00に作業を終了し、掃除を行ってからおやつを食べます。
15:30に帰宅になります。



日帰り旅行
"川越"



おもちつき大会



創作活動
"オムレット作り"

さつまいも堀

